

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
倉敷市中心市街地活性化基本計画新計画地区

令和7年2月

岡山県倉敷市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者・自転車休日1日あたりの通行量	人	96,263	120,000	89,359	確定 ● 見込み	×	あり なし ●	87,999	R6年8月	×	電車を利用した来街者は増加しているが、駅付近の回遊に留まっているため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	倉敷美観地区の観光客数は増加傾向にあり、通年では通行量も増加していると思われるが、計測時期(8月)は気象条件などの要因が来街者の行動に影響していると考えられる。
指標2	市民交流施設利用者数	人/年	278,489	329,000	173,872	確定 ● 見込み	×	あり なし ●	346,356	R6年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時点では新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用者が減少していたが、5類感染症移行を経て回復した。また、倉敷物語館については、展示など自主事業の展開により利用者が増加している。
指標3						確定 見込み		あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	整備された拠点の利活用促進	・まちづくり協議会や都市再生推進法人などの関係者が定期的集う会議に参加 ・オープンスペース、市民交流施設でのイベント開催を支援	・オープンスペースは、キッチンカーの出店やマルシェなどのイベントで広く活用されている ・市民交流施設は、学生などの若者が主に利用している	・整備された拠点(再開発エリア)だけでなく、周辺エリアや中心市街地全体を見据えた事業も展開する必要がある
	倉敷美観地区の魅力発信	・伝統的建造物を活用する事業を補助金により支援 ・倉敷美観地区と周辺地域の魅力を紹介するデジタルマップの更新とPR冊子の作成・配布	・飲食店や宿泊施設、交流スペースなど、補助金を利用した伝統的建造物の活用が進んでいる ・デジタルマップのPR冊子が小学校の授業で活用されるなど、新たな層に魅力を発信することができた	・観光客だけでなく、住民が地域の魅力に気付くきっかけとなる事業を強化する必要がある
	まちづくり活動支援事業に関する広報、運用改善	・出前講座等を通じた事業の広報 ・より多くの事業者が活用できるように補助金の配分額を調整	・事業活用に関する相談件数が増加した	・初めてまちづくりに取り組む事業者に対して、事業が円滑に進むよう伴走する必要がある
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地内の交流促進	・スタンプラリーやまち歩き等の交流イベントを複数開催 ・イベント会場に市有地を活用	・実施主体の官民を問わず、様々な交流イベントが中心市街地内で開催されている	・イベント同士の連携を強化し、にぎわいを中心市街地全体に波及させる必要がある
	歴史的な町並みの継承	・建物の外観改修を補助金により支援 ・まちの将来像を描き、実行するための官民連携組織を設立	・補助金を利用した建物の外観改修が進んでいる ・官民連携組織にて、歴史的な町並みの継承等に向けた協議を定期的に行っている	・官民連携組織で描いた将来像を地域で共有するとともに、実現に向けたアクションの推進に必要な人材・財源を確保する必要がある
	便利で快適な居住環境の整備	・土地区画整理事業の推進 ・マルシェや朝市など住民が参加できるイベントの開催を支援	・様々なイベントが中心市街地内で開催されている ・中心市街地内の人口は増加傾向にある	・土地区画整理事業による宅地や公園等の整備を引き続き推進する必要がある

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
暑熱対策の推進	・パラソル設置や日傘のシェアリングなど、暑熱対策に取り組む事業を支援する	令和7年度以降	・面的に取り組むため、まちづくり協議会や事業者振興会等との連携により推進する必要がある